

科名： 住居環境科

訓練科目の区分		授業科目名	必須・選択	開講時期	単位	時間/週
教育訓練課程	専門課程	インテリア計画	必須	5-6期	2	2
教科の区分	専攻学科					
教科の科目	住環境計画					
担当教員		内線電話番号	電子メールアドレス		教室・実習場	
授業科目に対応する業界・仕事・技術						
総合建設業における意匠設計業務 工務店(住宅)における意匠設計業務 設計事務所における意匠設計業務						
授業科目の訓練目標						
授業科目の目標	No	授業科目のポイント				
建築内外部の設計に必要な基本的知識として、人、物、空間の関わりと具体的空間づくりのための基礎知識を学びます。	①	インテリア設計の手法を知っている				
	②	インテリアの人間工学を知っている。				
	③	インテリアエレメントを知っている。				
	④					
	⑤					
	⑥					
	⑦					
	⑧					
	⑨					
	⑩					

授業科目受講に向けた助言	
予備知識・技能技術	建築計画Ⅰや住居論で学習した住宅設計に必要な規模計画や配置計画、形態計画について理解していることが大切です。建築計画Ⅰや住居論で学んだ知識を整理復習してください。
授業科目についての助言	みなさんが建物の中で触れている机や椅子、棚はその使い方と活用方法によって生活の充実感や気分的なイメージが変わったりしていることは日頃の経験から体験済みでしょう。そのような充実した環境作りに必要な快適な住空間の機能の条件を実現するための空間構成(家具や椅子、机、寝具等の配置など)や人間工学に基づいた寸法、素材について、この講座で学ぶことにより自分の理想の空間作りを実現してください。
教科書および参考書	教科書：図解住まいとインテリアデザイン(彰国社)
授業科目の発展性	<pre> graph LR     A[建築史] --&gt; B[インテリア計画]     B --&gt; C[住居論]     B --&gt; D[建築計画Ⅰ]     B --&gt; E[建築法規]     C --&gt; F[インテリア設計実習]     D --&gt; G[建築設計実習Ⅰ、Ⅱ]     </pre>

評価の割合(例)							
指標・評価割合	評価方法						
	試験	小テスト	レポート	制作物	成果発表	その他	合計
	80					20	100
評価割合	授業内容の理解度	20					
	技能・技術の習得度	20					
	コミュニケーション能力						
	プレゼンテーション能力						
	論理的な思考力、推論能力						
	取り組む姿勢・意欲	40					20
	主体性・協調性						

回数	訓練の内容	運営方法	訓練課題 予習・復習
1週	インテリアの歴史について	講義	日本の家具と西洋の近世、近代の家具について復習してください。
2週	インテリア設計の与条件の整理について	講義	住まいにおける空間の規定性について復習してください。
3週	寸法計画について	講義	モジュラーコーディネーションについて復習してください。
4週	動作寸法について	講義	ものの寸法と身長の関係について復習してください。
5週	動作空間について	講義	生活姿勢の動作域と設備寸法の関係について復習してください。
6週	動作空間について	講義	平面計画に必要なゾーニング計画について復習してください。
7週	動作・行動の特性について	講義	ものの操作法と人間の動作について復習してください。
8週	インテリア構法について(使用材料と使い方)	講義	材料と仕上げについて復習してください。
9週	インテリア構法について(仕上げ方法について)	講義	各部位における仕上げについて復習してください。
10週	人間工学と家具の関わりについて(1)	講義	椅子と机の役割について復習してください。
11週	人間工学と家具の関わりについて(2)	講義	ベッドの役割について復習してください。
12週	人間工学と家具の関わりについて(3)	講義	室空間と寸法について復習してください。
13週	インテリアエレメント(インテリアに必要な材料について)	講義	壁・カーテン・カーペットについて復習してください。
14週	インテリアエレメント(家具の仕様について)	講義	家具の材料と部品について復習してください。
15週	照明器具について	講義	照明の種類について復習してください。
16週	インテリア施工について	講義	工程管理について復習してください。
17週	住空間計画について	講義	間取りの種類と変遷について復習してください。
18週	確認試験	試験	全体計画の総まとめをおこないます。